



第41回定期国労九州本部大会開催!



九州本部 千々岩委員長

委員長挨拶

八月二六日博多リファレンス駅東において国労九州本部の定期大会を開催しました。大会には中央本部から、松川委員長、岩元書記長が参加し、委員長から情勢報告を受けました。また、前段には労働講座を開催し、平塚会計士より様々な給付金の学習を行いました。

九州本部を代表して挨拶したい。
①地方ローカル線と全安定輸送について
JR高速船の虚偽報告と隠蔽についてである。社員には、企業倫理とコンプライアンスが重要と何度も指導を行ってきた。その

会社幹部が、報告もせず、高速船の社長自らが隠ぺいを指示していた事が、国土交通省の抜き打ち検査で発覚した。この責任はJR九州にあると考える。九州本部としても、会社に申し入れをし説明を求めていく。この間、広木駅での人身傷害事故の発生から、同じようにハウステンボスでも同様の事故が発生している。国労が先頭に立って注意深く目を配らないと会社は気付かないので、おかしな所があれば躊躇せず声を上げよう。西九州新幹線が開業し2年を迎えるが、上下分離した江北駅へ諫早間は7割減と最悪な結果となっている。自治体と協議し利用しやすいダイヤにしていかないとこの先大変な状況となってくる。存廃協議目安に10路線13区間が該当している。本部とも連携しながら議論を深めていく必要がある。

②組織強化と5年ビジョンについて これまで組織のあり方や財政問題、技術継承など各地区本部とも議論をしてきた。組織の減少や役員の手など考え、佐賀と博多を統合し、鹿児島地区本部は解散し直轄分会として変更してきた。今後各地区本部と意見交換をしながら話を進めていきたい。今後も次世代の仲間を支えながら最後まで取り組みをしていく。国労運動を残していくためにも、宣伝活動を重視し組織拡大をあきらめず取り組みたい。

③25春闘について
24春闘では、新賃金制度改正もあり、賃金が上がることは予想していたが、制度改正とベアは別物としてベアゼロは認められないとしていたが、一時金20万円の支給と労働条件の改善もあり妥結することにした。来春闘では、本場のベアを勝ち取り、労働条件も大幅に改善させて若年退職をさせないようにはしないと、JR九州の未来はないと考えるので、全力で取り組みたい。

④平和と民主主義を守る
ロシアによるウクライナ侵攻や昨年が始まったイスラエルガザ侵攻は未だ終息が見えない。武力による一方的な侵略は国際法違反であり断じて容認できるものではない。また、先の大戦で広島・長崎に原爆が投下され、未だに放射能による病気に苦しめられている人がいる。

<お知らせ>

○JR発足37年地域公共交通を考えるシンポ
10月14日13時~本部

○九州本部レク予定
10月24日25日 田主丸

国労原爆死没者慰霊式典が八月四日広島と九日長崎で開催され参加してきた。現在、組合員の減少と財政問題等があり今後の取り組みに影を残すものとなっている。政治の状況は、自民党の政治資金パーティの裏金問題で混乱し、四月の三つの衆議院補選では不戦敗も含め全敗となった。岸田首相は次期総裁選に出馬しない事を表明し、テレビでは毎日のように、自民党の総裁選について報道している。九月二七日投票票により新しい総裁が決定されるが、それ以降、総選挙へと流れていく事となる。反自民を胸に立憲野党と協力して政治を変えていかなければならない。九州本部はその先頭に立ち奮闘する決意である。

各委員からの主な発言



北九州 畠山代議員

- ・ JR 高速船隠蔽問題について
- ・ 列車の増便、無人駅の廃止について



北九州 稲塚代議員

- ・ 車掌区の変行路の取り扱いについて
- ・ 要員不足、年休問題について
- ・ 若年退職について



北九州 森川代議員

- ・ 小倉工場移転問題について
- ・ シニア行路の増組、基準について
- ・ 車両故障への対応について
- ・ 年休問題について
- ・ 8月8日に発生した日向灘沖地震の対応について



博多 森永代議員藤

- ・ アルバイトや賃金、職場環境問題について
- ・ 駅の無人化による、不正乗車問題。
- ・ ICカード利用区間の拡大について



博多 久本代議員

- ・ 職場の慢性的な要員不足、年休問題について

- ・ エリア限定社員制度の問題について
- ・ 筑肥線6両ワンマン実施についての問題点
- ・ ICカードの拡大について



博多 福田代議員

- ・ 香椎線自動運転について
- ・ JR 高速船隠蔽問題について
- ・ 勤務マツツチングを使用した超勤について
- ・ 組織拡大について



博多 岩田代議員

- ・ 筑肥線6両ワンマン実施について
- ・ 香椎線自動運転の拡大による運転士の扱いについて

- ・ エリア限定制度と転勤問題について



博多 今宮代議員

- ・ 分会の組織現状、組織再編について
- ・ 職場の慢性的な要員不足について
- ・ 気動車列車の冷房故障と熱中症対策について
- ・ 組織拡大について



長崎 神近代議員

- ・ 第52回国鉄原爆死没者慰霊機の御礼
- ・ 新事務所移転について
- ・ 組織再編について



長崎 宇都宮代議員

- ・ ワンマン化による事故の多発問題
- ・ 両数検知機が動作しなかった事象について
- ・ サービスサポート直営駅について
- ・ 長崎線、上下分離区間におけるダイヤ設定問題について
- ・ 気動車列車の冷房故障について



鹿児島 黒木代議員

- ・ 組織再編について
- ・ 職場の状況 エリア限定12名転入
- ・ 地方ローカル線維持の取り組みについて

書記長集約

出された意見に答えながら集約したい。

①組織再編と拡大について意見が出されてきた。鹿児島地区本部は六月に解散し、九州本部直轄の分会として再スタートした。組合員数の減少と組織の現状を考え負担を減らして、本来の運動を強化し組織拡大に向けて取り組んで行くためである。組合員の減少で厳しい現状ではあるが諦めずに奮闘しよう。七月には組織拡大の一環として中川弁護士を講師に、年休問題とカスハラ学習会を行なった。署名を取って行く中で、各職場から多数の意見が上がり、これを取り上げての学習会としてきた。



九州本部 西山書記長

今後も、職場の意見に沿ったテーマで学習をしていく必要がある。組織拡大は日頃からの地道な努力と行動の結果である。引き続き継続した運動をお願いしたい。

TUNAGアプリの組合員全員の登録を行って欲しい。そしてそれを活用した運動をお願いしたい。

②25春闘について

夏季手当については、国労だけが要求していた、一時金が出たことは一定の評価と考える。しかし月数は、社員を満足させるには程遠いものであった。ベアも、「人事賃金制度改正」がベアであるとして、「ゼロ回答」であった。今、職場からは「期末手当もベアも業績の好調時にしっかりと要求して獲得してこなかったからこうした現状になってきた。会社は最高益を出しても社員に還元する気はない」という声が堂々と聞こえる。社員の多くが長い間の賃金抑制、物価高騰により生活は厳しさを増している。25春闘では、好調な収益状況からも大幅な賃上げベア獲得と期末手当の要求獲得に向けてのために全力をあげていきたい。

③安全安定輸送の確立について

相次ぐ合理化で無人駅は大幅に拡大し、ワンマン運転は拡大され収益確保のため安全は二の次と思われるかねない施策の連続で利用者からも不安の声が出ている。広木駅で鉄道人身事故が発生したが、ハウステンボス駅でも同様な事故が発生している。国労が指摘した設備面の不備に対し、会社は運転士個人の責任に転嫁しようとすることは許されない。またこの間、架線トラブル、通信器異常、信号系トラブル等、輸送障害が多発している。職場から点検活動を強化し、問題点については、各地区本部とも連携し安全安定輸送に対しては妥協することなく運動を展開していかなければならない。

JR高速船虚偽隠蔽問題については、マスコミで大きく報道されてきた。別会社の問題という意見もあるがJR九州の名前も大々的に出されているように、JR九州会社の責任は重大であると考える。企業倫理・コンプライアンス問題を含め、申し入れを行い対応を求めていく。

④公共交通を守る運動について

八月一九日に指宿枕崎線（指宿ノ枕崎間）について、「将来の在り方に関する検討会」が開催されたが、社長は「鉄道の存廃を前提としなさい」と説明している。会社は事あるごとに線区別収支を公表し赤字だけを強調している。近年、毎年のように災害が発生しているが、被災者即存廃とさせない利用者・自治体・労働組合・交運労協が一体となった鉄道ネットワークを守る取り組みが必要となってくる。

国労は国交省に対して「観光立国」として地方ローカル線を貴重な移動手段として位置づけ、収支だけで存廃の議論が終わる事が無いように税制優遇や補助金制度が活用できるように要請してきた。インバンド需要の急拡大の対応には公共交通は欠かせない存在であり、国だけになくJRに対しても同様に沿線自治体や利用者も含めて運動を展開できるかが重要となってくる。関係地区本部と連携して強めていきたい。

25春闘勝利、労働条件改善にむけ奮闘することを決意して集約したい。

がん保険にできることを、もっと。

No.1 アフラックがん保険 がん保険 がん保険 がん保険

NEW 「生きる」を創るがん保険 WINGS

1 幅広い保障で経済的負担をサポート

治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 付帯サービス「アフラックのよりそうがん相談サポート」(※1) (2023年1月23日サービス提供開始予定)

アフラックのよりそうがん相談サポートがさまざまな悩みの解決をサポート

「がんかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(※1) アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.afac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html)をご確認ください。

(募集代理店) (アフラックは代理店制度を採用しています)

アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885